

<様式1>

令和2年度 さいたま市立第二東中学校 自己評価書

校長 春山悟 印

1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 学校教育目標～輝く笑顔 二東生～ <目指す生徒像>笑顔あふれる生徒
- (2) 学校経営方針
- ①「生きる力」を育む教育課程の編成 (Grit・Growth)
  - ②「よい授業」を目指した授業の改善 (Grit・Global)
  - ③豊かな人間性を育む心の教育の充実 (Grit・Global)
  - ④9年間の連続性のある学習習慣と生徒指導 (Growth)
  - ⑤心のサポート体制の推進 (Grit・Global)
  - ⑥安全で安心な学校環境づくり
  - ⑦家庭・地域と連携協力し信頼される学校づくり
  - ⑧健康で明るく、互いに磨き合う教職員
  - ⑨「報・連・相」を徹底する組織

Grit「やり抜く力で真の学力を育成すること」  
Growth「一人ひとりの成長を支え、生涯学び続ける力を育成すること」  
Global「国際社会で活躍できる人材を育成すること」

2 評価結果について

- ・「教育課程の編成・実施状況」については、教職員のアンケートにおいて、肯定的な回答が90%を超えており、コロナ禍ではあったが、適切な編成及び実施ができた。
- ・「目標を持って、学校生活を生き生きと送っている」について肯定的に回答した生徒は、昨年度より2.8ポイント増加し、91.8%となった。コロナの影響で多くの行事ができなかったが、生徒たちなりに前向きに生活している様子が見えてくる。
- ・「よい授業」アンケートの結果は、前年度の同月比で、全ての項目が伸びている。また、全ての項目が市の平均を超えている。特に、因子①「授業マネジメント」は、前回の市平均を1.0ポイント上回ることができた。
- ・「授業に集中して、積極的に取り組んでいる」について肯定的に回答した生徒は、95%を超えており、落ち着いた環境の中で、学習に取り組める環境を整えることができた。
- ・本校独自に、第2学年で平成30年度の市学習状況調査を実施し、数学、社会、理科で当時の市の平均正答率を超えることができた。
- ・朝の打ち合わせを週3とし、参加する職員を管理職、教務主任、各学年主任とするとともに、校務用コンピュータの掲示板機能を活用して情報共有をすることで、教職員が児童生徒と向き合える時間を確保することができた。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

各教科に関しては、自校で作成している「学力向上ポートフォリオ」をもとに、PDCAサイクルに基づいた授業改善を継続する。授業では、今後整備される1人1台端末を活用できるように、ICTを活用した授業を積極的に取り入れ、タブレット型コンピュータ等のICT機器を効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫改善を図る。

教育相談に関しては、教育相談部会では個別の事案に対する対応策を検討する時間を確保すると共に、拡大教育相談委員会（学期に1回実施）において、学校全体の共通理解を図り、同一歩調で一人ひとりについて万全な支援を行えるようにする。また、「心と生活のアンケート」や長期休業前のアンケート、いじめに関する簡易アンケート、学期ごとのまとめや感想から、生徒の様子を慎重に読み取り、心のケアとサポートを組織的に行える体制を整え、子ども達が生き生きと学校生活を送る笑顔溢れる学校環境を構築する。